

入 学 案 内

1. 設 置

平成12年 4 月 1 日

2. 目 的

本校専攻科は、高等専門学校などの高等教育機関において、工学の基礎と実践的技術を修得した者に対して、更に2年間の高度で専門的な技術・学問を教授することによって、実践的かつ創造的な研究開発能力を持つ高度な技術者を育成することを目的とします。

3. 専攻科のアドミッションポリシー

本校専攻科では、機械・電気工学専攻、物質工学専攻、及び建設工学専攻の3専攻を設け、高等専門学校における教育の基礎の上に、それぞれの専攻においてより高度な専門学術を教授する。

また、教養教育及び実践的教育を通じて、幅広い教養と優れた人格を備えた広く産業の発展に寄与することのできる自立した技術者の養成を行う。

本専攻科入学者として、以下に示す基本的な知識と意欲を持つ人材を求めている。

1. 基本的知識を有し、さらに高度な専門的知識を学びたい人
2. 主体的に物事に取り組み、解決しようとする意欲のある人
3. 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人
4. 他の人と協調しながら物事に取り組める人

4. 各専攻の教育方針

(1) 機械・電気工学専攻

機械、電気の技術分野は高度化、専門化するとともに、両分野の技術の融合化も進んでいます。ロボティクスやメカトロニクスに代表されるこれら技術の融合化の例として、人間の頭脳と知覚、認識を持った知能ロボットの研究や、危険環境における作業ロボットの開発、生産ラインの自動化技術の開発などがあげられます。

本専攻では、高専本科の機械工学科及び電気情報工学科のカリキュラムの上に立って、両分野に共通する関連科目を中心に機械工学、電気工学のより高度な専門的知識と技術分野を教授します。これにより“機械の知能的な制御”をキーワードとした両分野の学際的素養を有する、創造性豊かで実践力のある技術者を育成します。

(2) 物質工学専攻

現在の高度技術社会は、優れた特性を持つ物質や材料などの高付加価値製品の創製によって可能となりました。これらの新物質や機能性材料は主に化学的技術によって製造され、最

近は微生物を利用したバイオ技術による有用物質の生産も実用化されています。また、環境対策やクリーンエネルギーの創出、資源リサイクルにも化学やバイオ技術の果たす役割が高くなっています。

本専攻では、物質工学科を卒業した学生に対して更に2年間、化学やバイオ、環境技術に関する基礎及び専門科目を教授し、上記のような期待に応えうる高度な知識と技術を備えた創造的技術者を育成します。

(3) 建設工学専攻

近年、建設工学の分野においては、自然環境と融合した地球規模の幅広い思考ができ、技術のより一層の複合化・多様化・高度化・国際化などに対応できる技術者の育成が望まれています。

本専攻では、高専本科の環境都市デザイン工学科の授業科目を基礎にして、広範囲にわたる力学系科目を中心とし、環境・防災・情報を考慮した専門基礎及び応用科目を教授し、計画・設計・施工・管理を系統的かつ効率的に判断できる能力を持った創造力溢れる総合建設技術者や開発研究型の人材を育成します。

5. 専攻科のディプロマ・ポリシー

本校専攻科では、学則で定める修了要件を満たすとともに、以下に示すように修得すべき知識及び能力を有する者に対して修了を認定する。

- (1) 充実した基礎学力を持ち、問題に自ら立ち向かっていく積極的な行動力を身につけた者
- (2) 豊かな表現力、創造力及び指導力を発揮でき、問題設定力、判断力、実行力、チーム力などを身につけた者
- (3) 地域の問題を理解し、さらに地球全体を視野に入れて環境を総合的に配慮でき、エンジニアリングデザイン能力を身につけた者
- (4) 何事にも協調性をもって取り組むことができ、国際的適応力及びマネジメント能力を身につけた者
- (5) 高い倫理感に基づいた規範をもって行動し、社会的責任を果たすことができる者

6. 長期履修学生制度

職業を有している者等で、特別な理由により、専攻科の通常の修業年限の2年を超えて一定の期間（4年の期間内）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者は、申し出によりその計画による履修が認められます。

なお、長期履修学生が納付する授業料の年額は、当該在学期間を認められた期間に限り、通常の修業年限の授業料に前記修業年限を乗じて得た額を長期在学期間の年数で除した額となります。

7. 学士の学位取得

高等専門学校卒業生で一定の要件を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構の審査により学士の学位を取得することができます。

その要件とは、大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、大学と同等の基準にあると認められることです。

本校の専攻科は、大学改革支援・学位授与機構の認定を受けておりますので、専攻科修了時に学士の学位を取得する途が開かれています。

8. JABEE対応教育プログラム

本校の教育プログラム（本科の4，5年及び専攻科における4年間の教育課程）は、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けております。同プログラムの修了要件は次のとおりです。

プログラムの修了要件

- ・要件1：本校本科又は同等の学校卒業
- ・要件2：専攻科修了
- ・要件3：学士（工学）の学位取得（大学改革支援・学位授与機構による）

また、本校本科以外からの入学者は、入学後、本校本科に相当する教育プログラムの履修について指導を行います。

9. 技術士補資格の取得

日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けた、本校の教育プログラムを修了した者は、「技術士補」となる資格を有します。

技術士・技術士補とは

技術士制度は、技術的専門知識及び応用能力と豊富な経験を有する優れた技術者の育成を図るための国による技術者の資格認定制度です。

a) 技術士は、

技術士法に基づいて行われる国家試験（技術士第二次試験）に合格し、登録した人だけに与えられる称号です。国はこの称号を与えることにより、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを認定することになります。従って、技術士は、科学技術の応用面にわたる技術者にとって最も権威ある国家資格と言えます。

b) 技術士補は、

技術士法に基づく国家試験に合格し、登録した人に与えられる称号です。技術士補は、技術士となるのに必要な技能を修得するため、技術士を補助することになっています。この技能修得後、技術士第二次試験を受検できます。

10. 入学時に必要な諸経費（平成29年度実績のため、改定する場合があります）

入学料 84,600円

授業料 117,300円（年額234,600円のうち前学期分）

教科書代等 50,000円程度

* 入寮を希望し許可された者は、寮関係経費が別途必要です。

37,000円程度 入寮費（入寮時のみ）、寮費及び部屋代（半期6ヶ月分）

11. 入学料・授業料免除及び入学料徴収猶予制度

(1) 入学料免除について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められた場合には、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額が免除されます。

(2) 授業料免除について

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け納付が著しく困難であると認められる者については、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除されます。

(3) 入学料徴収猶予について

経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者については、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の徴収が猶予されます。（入学料の徴収を入学年度内に定める期限まで猶予するものであり、免除されるものではありません。）

12. 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業成績・人物とも優れ、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

(参 考)

平成28年度入学者奨学金

第 一 種	自 宅 通 学	月額 30,000円又は月額 45,000円
	自 宅 外 通 学	月額 30,000円又は月額 51,000円
第 二 種 (有利子)		月額 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円及び120,000円から選択

13. そ の 他

(1) やむを得ない事情がある場合、本校の学生寮に入寮を希望することができます。本人の申請に基づき選考のうえ、入寮を許可します。

ただし、選考の結果、入寮を認められた場合は寮生活全般にわたって本科生の寮生と同様、学寮規則及び学寮日課を遵守しなければなりません。

(2) 入学案内に関して不明な点は下記までご連絡ください。

高知工業高等専門学校 学生課教務係

〒783-8508 高知県南国市物部乙200番1

TEL (088) 864-5622・5623

FAX (088) 864-5536

教 育 課 程

機械・電気工学専攻

区分	必修 選択	授 業 科 目	単 位 数	学年別配当		備 考
				1 年	2 年	
一般科目	必修	英 語 演 習 I	2	2		
		英 語 演 習 II	2		2	
		技 術 者 倫 理	2	2		
	選択	地 域 産 業 経 済 論	2		2	
	一般科目開設単位 小 計			8	4	4
専門基礎科目	必修 選 択	解 析 学	2	2		
		代 数 学 ・ 幾 何 学	2	2		
		現 代 物 理 学 A	2	2		
		現 代 物 理 学 B	2	2		
		一 般 化 学	2	2		
		生 命 科 学	2	2		
		応 用 情 報 処 理	2	2		
	デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	2	2			
専門基礎科目開設単位 小 計			16	16		
専門基礎科目16単位中12単位以上修得すること。						
専門共通	選 択	環 境 工 学 特 論	2		2	
		材 料 科 学	2		2	
	必修	生 産 工 学 特 論	2		2	
	専門共通科目開設単位 小 計			6		6
専門 科 目	必 修	特 別 研 究	14	4	10	
		特 別 実 験	8	4	4	
		エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	2	2		
		ロ ボ ッ ト 工 学	2		2	
	選	セ ン サ 工 学	2	2		
		デ ィ ジ タ ル 制 御	2	2		
		物 性 工 学	2	2		
		シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 工 学	2	2		
		画 像 処 理 論	2	2		
		強 度 設 計 学	2		2	
		流 体 力 学	2	2		
	択	伝 熱 工 学	2	2		
		パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス 特 論	2		2	
		電 気 電 子 回 路 工 学	2	2		
		工 学 基 礎 演 習	2	2		
専門科目開設単位 小 計			48	28	20	
開設単位 合計			78	48	30	

修了要件：修得62単位（必修34単位，必修選択12単位以上を含む）以上修得

物質工学専攻

区分	必修 選択	授 業 科 目	単 位 数	学年別配当		備 考
				1 年	2 年	
一般科目	必修	英 語 演 習 I	2	2		
		英 語 演 習 II	2		2	
		技 術 者 倫 理	2	2		
	選択	地 域 産 業 経 済 論	2		2	
一般科目開設単位 小 計			8	4	4	
専門基礎科目	必修 選 択	解 析 学	2	2		
		代 数 学 ・ 幾 何 学	2	2		
		現 代 物 理 学 A	2	2		
		現 代 物 理 学 B	2	2		
		一 般 化 学	2	2		
		生 命 科 学	2	2		
		応 用 情 報 処 理	2	2		
		デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	2	2		
	専門基礎科目開設単位 小 計			16	16	
専門基礎科目16単位中12単位以上修得すること。						
専門共通	選 択	環 境 工 学 特 論	2		2	
		材 料 科 学	2		2	
		生 産 工 学 特 論	2		2	
	専門共通科目開設単位 小 計			6		6
専門 科 目	必修	特 別 研 究	14	4	10	
		特 別 実 験	8	4	4	
	選 択	天 然 物 有 機 化 学	2	2		
		有 機 合 成 化 学	2	2		
		分 析 化 学 特 論	2		2	
		反 応 工 学 特 論	2	2		
		固 体 化 学	2		2	
		化 学 結 合 論	2		2	
		生 化 学 特 論	2	2		
		分 離 操 作 工 学	2	2		
		生 物 化 学 工 学	2		2	
		セ ラ ミ ッ ク ス 化 学	2	2		
		高 分 子 材 料 化 学	2	2		
触 媒 化 学	2	2				
専門科目開設単位 小 計			46	24	22	
開設単位 合 計			76	44	32	

修了要件：修得62単位（必修28単位，必修選択12単位以上を含む）以上修得

建設工学専攻

区分	必修 選択	授 業 科 目	単 位 数	学年別配当		備 考
				1 年	2 年	
一般科目	必修	英 語 演 習 I	2	2		
		英 語 演 習 II	2		2	
		技 術 者 倫 理	2	2		
	選択	地 域 産 業 経 済 論	2		2	
一般科目開設単位 小 計			8	4	4	
専門基礎科目	必修 選択	解 析 学	2	2		
		代 数 学 ・ 幾 何 学	2	2		
		現 代 物 理 学 A	2	2		
		現 代 物 理 学 B	2	2		
		一 般 化 学	2	2		
		生 命 科 学	2	2		
		応 用 情 報 処 理	2	2		
		デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	2	2		
専門基礎科目開設単位 小 計			16	16		
専門基礎科目16単位中12単位以上修得すること。						
専門共通	選択	環 境 工 学 特 論	2		2	
		材 料 科 学	2		2	
		生 産 工 学 特 論	2		2	
	専門共通科目開設単位 小 計			6		6
専門科目	必修	特 別 研 究	14	4	10	
		特 別 実 験	8	4	4	
		建 設 工 学 演 習	4	2	2	
	選択	構 造 解 析 特 論	2	2		
		地 震 工 学	2		2	
		応 用 水 理 学	2	2		
		防 災 工 学 特 論	2		2	
		建 設 材 料 学 特 論	2	2		
		基 礎 工 学 特 論	2		2	
		地 盤 工 学 特 論	2	2		
		計 画 シ ス テ ム 分 析	2		2	
		水 環 境 工 学 特 論	2	2		
		海 岸 工 学	2		2	
建 築 設 計 演 習	2	2				
専門科目開設単位 小 計			48	22	26	
開設単位 合計			78	42	36	

修了要件：62単位（必修32単位，必修選択12単位以上を含む）以上修得